

# 2019年佐久地域県政おもなできごと

佐久地域振興局

月	内 容
1月	<p><b>「佐久地域の5年後の将来像」を高校生がデザイン</b> 【佐久地域振興局(企画振興課)】</p> <p>しあわせ信州創造プラン2.0～学びと自治の力で拓く新時代～(長野県総合5か年計画)佐久地域計画の普及啓発を図るとともに、高校生等の地域理解を深めるため、佐久地域の高校生に「佐久地域の5年後(2022年)の将来像(望む姿)」を思い描いてデザインしていただきました。</p> <p>応募作品のうち、優秀な作品5点をクリアファイルのデザインとして活用し、次代を担う若い世代の方々が卒業後、地域外や県外へ進学・就職しても、将来再び佐久地域に戻り活躍していただくことを願い、佐久管内の高等学校・中学校等へ配布するとともに、県民の皆様へ佐久地域計画の周知を図りました。</p> 
2月	<p><b>千ヶ滝湯川用水に県下初の水門遠隔操作システムを導入</b> 【佐久地域振興局(農地整備課)】</p> <p>千ヶ滝湯川用水の下堰水路の余水吐水門4箇所に、県下初となる水門遠隔操作システムが導入され本格稼働しました。</p> <p>このシステムは、遠隔地から水路の状況を確認しながら水門の操作が行える機能を備え、水位感知式水門自動化による流量調整機能と相まって、管理労力の大幅な削減と、突発的な降雨に対する地域の安全性の向上に寄与しています。</p> 
4月	<p><b>統一地方選挙で長野県議会議員が改選</b> 【佐久地域振興局(企画振興課)】</p> <p>4月7日、統一地方選挙の前半、長野県議会議員一般選挙の投票が行われました。</p> <p>佐久地域では、小諸市及び南佐久郡の2選挙区(それぞれ定数(1))が無投票となったのに対し、佐久市・北佐久郡選挙区(定数(4))では6人が立候補しました。</p> <p>この結果、佐久地域の3選挙区で、新人2人を含む6人の県議会議員が新しい任期をスタートしました。</p> <p>なお、統一地方選挙後半の4月21日は、佐久地域の6町村において首長や議会議員の選挙が行なわれました。</p> 
4月	<p><b>佐久穂町 山火事が発生</b> 【佐久地域振興局(林務課)】</p> <p>4月5日に佐久穂町筆岩地籍で発生した山火事は、消防本部・消防団、県防災ヘリ、自衛隊のヘリなどの消火により7日に鎮火しました。佐久穂町有マツタケ山など32ヘクタールが焼失しました。</p> <p>研究機関の応援を得ながら、林野火災跡地を調査、経過観察を行い、マツタケ山が再生するよう支援をしていきます。</p> 

月	内 容
5月	<p><b>しあわせ信州移動知事室(佐久地域)の開催</b>  <b>【佐久地域振興局・佐久保健福祉事務所・水産試験場佐久支場】</b></p> <p>第12回目となる「しあわせ信州移動知事室」が5月9日・10日の2日間にわたり開催されました。これは知事が佐久地域の方々との対話や施設の訪問等を行うことで、様々な課題をタイムリーに把握し、スピード感を持って県政全般に反映させていく取組です。</p> <p>県政ランチミーティングでは「立科町の観光振興」や「佐久地域で暮らして」等をテーマとして活発な意見交換が行われました。このほか、信州ブランド魚生産者や地域の報道機関との懇談、長野県シニア大学の大学生へのメッセージ発信等、様々な取組の視察や体験、地域の方々との対話を実施しました。</p> 
5月	<p><b>「クリーン信州for ザ・ブルー」を実施</b>  <b>【佐久地域振興局(環境課)】</b></p> <p>5月26日、千曲川西浦ダム下流(小諸市)において、豊かな環境づくり佐久地域会議の会員など、総勢24名のボランティア及びスタッフにより河川清掃が行われました。</p> <p>これは、軽井沢町で開催されたG20持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合を契機に、海洋プラスチック問題を上流域から考え取り組むために実施されたものですが、回収ごみ(軽トラック約1台)のうち、約8割(体積比)がプラスチックごみで、その多さが体感されました。</p> 
6月 ～ 12月	<p><b>CSF(豚コレラ)のまん延防止に向けた取組を実施</b>  <b>【佐久地域振興局(農政課・林務課)・佐久農業改良普及センター 他】</b></p> <p>2月6日高森町で県内初のCSF(豚コレラ)が発生し、養豚場で殺処分が行われました。佐久管内では、6月から3回にわたり佐久地域特定家畜伝染病連絡会議を開催し、関係機関とリスク管理や情報共有に努めるとともに、豚舎周囲の侵入防止柵設置等の支援を行ってきました。</p> <p>また、管内での感染拡大を防止するため川上村から軽井沢町までの6市町村120カ所にイノシシへの経口ワクチンを散布したほか、合同庁舎及び市町村庁舎での消毒や登山口への周知チラシの掲載、管内26農場約1万2千頭の豚にワクチン接種等を行いました。</p>  
6月 ～ 12月	<p><b>学校・宿泊施設・子供食堂・レストラン等で地消地産をPR</b>  <b>【佐久地域振興局(農政課)】</b></p> <p>佐久地域の特色ある農産物の価値や魅力を理解してもらうため、小学校や子供カフェ、宿泊施設、レストラン等で地元農産物のPRを行いました。</p> <p>6月3日には地産地消推進キャラクターの「旬ちゃん」と軽井沢中部小学校に訪問し、地元農産物の旬の時期や地元農産物クイズを、6月25日には宿泊施設関係者に地元野菜の試食会を、10月26日には「信州こども食堂inこもろ」において地元産の野菜提供を行い、また、11月16日から12月31日までは管内12の飲食店において「佐久鯉」をテーマにしたおいしい信州フードフェアを行いました。</p> <p>これらの取組等により管内の宿泊施設で地元農産物を活用する施設も徐々に増えてきました。</p>  <p style="text-align: center;">子供食堂でのPR</p>

月	内 容
8月 ～ 9月	<p><b>園児の交通事故を受けた保育所等の散歩ルートを点検</b> 【佐久地域振興局(総務管理課) 他】</p> <p>5月の滋賀県大津市における園児の交通事故を踏まえ、県内保育所・幼稚園等の散歩ルートについて、交通安全の観点から危険のあると認められる「安全確保重点箇所」を対象に、警察、道路管理者等の関係機関と合同点検を実施しました。</p> 
9月	<p><b>「森のフェスティバルin佐久」を開催</b> 【佐久地域振興局(林務課)】</p> <p>豊富なカラマツ資源を十分に利用し、森林・林業の再生を図り、地域の森林の恵みを活用することで、地域経済の活性化を図ることを目的に、9月21日に佐久平交流センター及び隣接する市民交流ひろばで「森のフェスティバルin佐久」を開催しました。</p> <p>今年は、講演などのフォーラムに加えて、屋外の広場に林業関係団体などが木工教室、チェーンソーアート、きのこ販売など17ブースの出展をし、約200人の方にご来場いただきました。今後、さらにカラマツ材の利用拡大とカラマツ林業の振興に努めていきます。</p> 
9月	<p><b>国道254号 宇山バイパスが開通</b> 【佐久建設事務所】</p> <p>平成23年から整備してきた国道254号宇山バイパスが9月21日に開通しました。この国道は佐久地方と松本地方並びに関東圏を結ぶ主要な幹線路線で、中部横断自動車道の開通により交通量が増加し、未改良区間の解消が急務となっていました。また、立科町宇山地区では重要な生活道路でもあり、幅員が狭くカーブで見通しも悪いため、車両や歩行者の安全な通行に支障をきたしていました。そこで、バイパスを整備し通過交通を迂回させ、交通の円滑化と安全で快適な生活環境の確保を図りました。</p> 
10月	<p><b>「2019環境フェアin佐久」を開催</b> 【佐久地域振興局(環境課)】</p> <p>10月5日・6日、駒場公園において、環境保全に関する取組を紹介し、環境について学び、体験できる環境イベントを豊かな環境づくり佐久地域会議と県の主催により開催しました。</p> <p>海のプラスチックごみ等のパネル展示、ごみ減量化などについての啓発や、自転車発電VS太陽光発電によるミニカー競争、エコバックづくりの体験など、全10団体により、様々な「体験と学び」プログラムが行われ、多くの皆様にご来場いただきました。</p> 

月	内 容
10月	<p><b>台風19号により甚大な被害が発生</b> 【佐久地域振興局・佐久建設事務所 他】</p> <p>10月12日から翌日にかけて日本列島を縦断した令和元年台風第19号は、日本各地に記録的な豪雨をもたらし、県内においても、千曲川流域を中心とした河川の氾濫や土砂災害等により大規模な被害が発生しました。佐久地域でも河川の決壊・越水による浸水被害や道路の損壊、家屋への土砂流入など、地域住民の人命財産に甚大な被害を受けたほか、農業・林業・観光等も被害を受けました。</p> <p>1日でも早い復旧・復興に向けて、他県からの応援を得ながら、「ONE NAGANO」を合言葉に県組織が一丸となって取り組んでいきます。</p> 
11月	<p><b>初めて「佐久地域農業青年のつどい」を開催</b> 【佐久農業改良普及センター】</p> <p>11月29日、佐久地域農業青年のつどいを行いました。3年間開催のなかった新規就農者激励会と、毎年実施している農業青年プロジェクト発表会を同じ日に開催し、新規就農者の仲間づくりや学習の継続を目指しました。</p> <p>激励会には新規就農者13名が参加し、一人一人から現在の経営状況や今後の展望が熱く語られました。参加した農業の先輩にあたる来賓の皆さんからの温かく、示唆に飛ぶ激励のことばが寄せられました。</p> <p>プロジェクト発表や意見発表も迫力のある内容で、佐久管内の農業青年の力みなぎる一日となりました。</p> 
12月	<p><b>きらめきコンクール 農村女性ネットワーク御代田知事賞受賞</b> 【佐久農業改良普及センター】</p> <p>農村女性ネットワーク御代田(会長 荻原 富士子さん)は町内関連団体との連携をとる中で、「食育」、「伝統食の継承」、「6次産業化」、「移住希望者等との交流」などに積極的に取り組んでいます。この活動が認められ、「令和元年度農村女性きらめき農業コンクール」において、12月17日県知事賞(最優秀賞)を受賞しました。食育活動では、農業青年組織である「御代田町浅間クラブ」と連携して小学校での野沢菜栽培からそれを利用した野沢菜漬け・おやきづくりに役割分担しながら取り組むとともに、中学生を対象に地域特産物を活用した「ふれあい調理実習」にも取り組んでいます。(R1.11.28 農業青年組織(御代田町浅間クラブ)とともに御代田町立南小学校で野沢菜の収穫・漬物体験を支援)</p> 
通年	<p><b>浅間山で小規模な噴火が発生、その後は前掛山まで登頂可能に</b> 【佐久地域振興局(総務管理課・商工観光課)】</p> <p>8月7日及び25日に浅間山の山頂火口で小規模な噴火が発生し、噴火警戒レベルが1(活火山であることに留意)から3(入山規制)に引き上げられ、一時は入山できない状況になりました。その後は火山活動が落ち着き、段階的に噴火警戒レベルが引き下げられ、11月6日には再び噴火警戒レベル1となり、前掛山への登山も可能になりました。今後も安全に登山をしていただけるよう、関係団体と連携して啓発を行っていきます。</p> <p>また、今年は4年ぶりに噴火警戒レベル1(活火山であることに留意)で登山シーズンを迎えました。この機会に多くの登山愛好家に浅間山の魅力を知って訪れていただけるよう、開山祭が行われた5月には(一社)こもろ観光局とともに専門誌を通じて情報発信を行いました。</p> 

月	内 容
通年	<p><b>佐久地域でリゾートテレワーク推進【佐久地域振興局(商工観光課)】</b></p> <p>仕事をしながら休暇を楽しむ新たなライフスタイル「ワーケーション」。県が推進する信州リゾートテレワーク事業のモデル地域の指定を受け、佐久市と軽井沢町が取り組みを進めています。</p> <p>佐久市では8月23日～24日に、浅間山を望む千曲川沿いの公園内にタープなどを張り、ミーティングやテレワークを行うオフサイトミーティングを実施しました。また、昨年度からこの事業に取り組んでいる軽井沢町は、中軽井沢駅近くの空き店舗と旧軽井沢銀座通りにある観光会館内に、テレワークなどに活用できるコワーキングスペースを新たに設置しました。</p> <p>佐久地域は自然環境が豊かで首都圏から最も近いことから、今後、地域全体への広がりが期待されます。</p>

